

登録コード	SSE05500	開講年度	2026				
授業題目	生体生物学演習 I				担当教員	柴田 直樹 他	
英文授業名	Life science seminar I				副担当	伊藤 靖夫・高梨 功次郎・小笠原 慎治・坂本 勇貴	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 4 SSカリ・理学						
	～24SS 【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力				⇔	それぞれの研究分野の重要な文献を選び出し精読することで専門知識を修得するとともに、適切に他者に説明できるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学						
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力				⇔	それぞれの研究分野の重要な文献を選び出し精読することで専門知識を修得するとともに、適切に他者に説明できるようになる。	
(2)授業の概要	遺伝子の発現制御、外来遺伝子の取り込み機構、性分化の制御機構、種間相互作用、生物の環境応答に関連した研究動向および課題を掌握するため、文献の抽出、読解、討論をおこなう。さらに、研究を進める方法論について学び、課題の解決法を考察する。						
(3)授業のキーワード	多様性、種間相互作用、交雑、植物生理、分子生物、専門知識と応用力						
(4)授業計画	第1回：ガイダンスと遺伝子の発現制御に関する課題の抽出 第2回：外来遺伝子の取り込み機構に関する課題の抽出 第3回：性分化の制御機構に関する課題の抽出 第4回：種間相互作用に関する課題の抽出 第5回：生物の環境応答に関する課題の抽出 第6回：遺伝子の発現制御に関する文献の抽出 第7回：外来遺伝子の取り込み機構に関する文献の抽出 第8回：性分化の制御機構に関する文献の抽出 第9回：種間相互作用に関する文献の抽出 第10回：生物の環境応答に関する文献の抽出 第11回：遺伝子の発現制御に関する研究例の読解 第12回：外来遺伝子の取り込み機構に関する研究例の読解 第13回：性分化の制御機構に関する研究例の読解 第14回：種間相互作用に関する研究例の読解 第15回：生物の環境応答に関する研究例の読解 第16回：遺伝子の発現制御に関する研究手法の理解 第17回：外来遺伝子の取り込み機構に関する研究手法の理解 第18回：性分化の制御機構に関する研究手法の理解 第19回：種間相互作用に関する研究手法の理解 第20回：生物の環境応答に関する研究手法の理解 第21回：遺伝子の発現制御に関する課題解決法の提案 第22回：外来遺伝子の取り込み機構に関する課題解決法の提案 第23回：性分化の制御機構に関する課題解決法の提案 第24回：種間相互作用に関する課題解決法の提案 第25回：生物の環境応答に関する課題解決法の提案 第26回：遺伝子の発現制御に関する検討事例についての紹介と討論 第27回：外来遺伝子の取り込み機構に関する検討事例についての紹介と討論 第28回：性分化の制御機構に関する検討事例についての紹介と討論 第29回：種間相互作用に関する検討事例についての紹介と討論 第30回：生物の環境応答に関する検討事例についての紹介と討論						
(5)成績評価の方法	発表（50％）、討論への参加状況（50％）で評価						
(6)成績評価の基準	得点率による評価基準は次のとおりとする。90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可						
(7)事前事後学習の内容	予備知識の修得、発表準備、討論内容の総括						
(8)履修上の注意	出席が必須なので無断で欠席しないようにする。						
(9)質問,相談への対応	担当教員ごとに相談して決める。						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						